

## Library



1月号

図書館だより

甲南高等学校図書館

新しい年が明け、早や3週間が過ぎました。3年生は大学入試センター受験が無事終わり、一步前進ですね。図書館には小論文対策に必要な図書を揃えていますので、ぜひ利用してください。

さて、3学期はまとめの時期であり、春に向かって進む希望に満ちた時期です。1・2年生は次年度への力を蓄える時です。勉学や部活動に励み、学力や体力をつけましょう。また今こそ読書に励みましょう。読書はあなたの心や知性を育てる大切な栄養です。普段読めない長編や少し堅い評論文、新しい科学や社会問題を扱った新書類に挑戦し、著者と自分の考えを確認しながら読んでみましょう。きっと新しい視界が開けるはずですよ。

## 3年生の皆さんへ

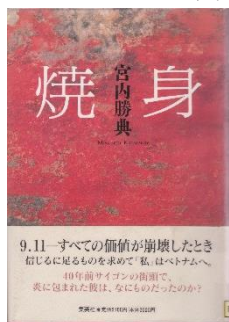
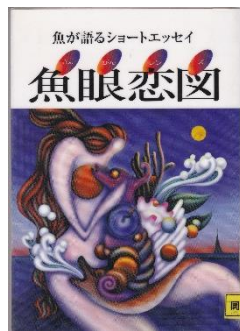
3年生の図書館利用は原則2月末までです。借りている本は早めに返却してください。

## 紹介します！同窓生の著作本

甲南高校及び二中、二高女出身の方々の著書を図書館に所蔵しています。場所は「郷土資料」の棚です。文学、芸術、教育、政治、ジャーナリズム、自然科学など各界で活躍された人たちの著書です。その中から一部を紹介します。

## 「魚眼恋図」(大嵩文雄著/新文堂)

本校体育館の緞帳(どんちょう)をデザインした大嵩氏が魚の気持ちで書いた随筆画集。



## 「焼身」(宮内勝典著/集英社)

作家として有名な宮内氏の作品。世界を巡り、混迷を深めるこの時代に、文学は何ができるのかを示そうとした意欲作。

## 「あたらしい太陽」(八島太郎著/

品文社) 絵本「からすたろう」の

作者として有名な八島太郎の画文集。自分の成長過程を描いており、この

本が第二次世界大戦中にアメリカで出版された意義は大きい。戦争へ向かう暗い時代の空気を鋭く描いた作品。

## 「酸性雨と酸性霧」(村野健太郎

著/裳華房) 理学博士村野氏の著書。

## 「本の旅」(大河内昭爾著/紀伊

國屋書店) 文芸評論家大河内氏が本との出会いを綴る。

## 「おんなの言葉365日」(相星雅子著/高城書房出版)

日本と世界の文学作品から選り出した言葉集。



## 新着図書紹介 (1月前半まで)

## ■ 調べ学習や小論文対策に役立ちます

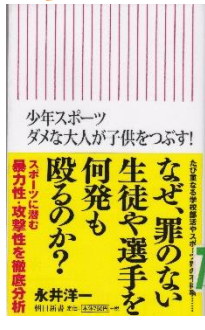
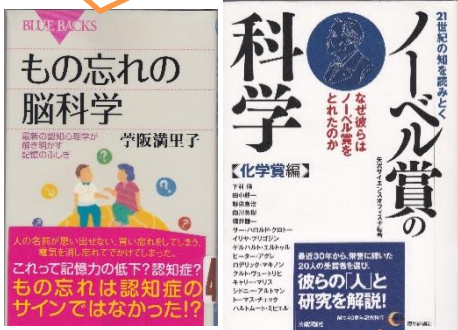
- 発達心理学 (林洋一)
- 面白いほどよくわかる！心理学 (渋谷昌三)
- 好きになる精神医学(越野好文)
- いちばんやさしい哲学の本 (沢辺有司)
- マンガでわかる！統合失調症 (中村ユキ)
- 東大のディープな世界史 (祝田秀全)
- 悪の引用句辞典 (鹿島茂)
- その「つぶやき」は犯罪です (鳥飼重和)
- 毒になるテクノロジー (ラリー・ローゼン)
- 脳にいいこと悪いこと (生田哲)
- 一番よくわかる！脳のしくみ(加藤俊徳)
- サクッと！化学実験(山田暢司)
- トコトンわかる化学の本(井沢省吾)
- 目に効く栄養学(水野有武)
- 眼科疾患100の質問(坪田一男)
- 眠りと体内時計を科学する(大塚邦明)
- 睡眠教室(宮崎総一郎)
- スポーツ・健康栄養学 (坂元美子)
- スポーツ外傷・障害とリハビリテーション(魚住廣司)
- 身体障がい者スポーツ完全ガイド (土田和歌子)
- 考えないヒト (正高信男)
- 劣化する日本人 (香山リカ)
- 憲法の「空語」を充たすために (内田樹)
- 熱狂なきファシズム (想田和弘)
- 超図特定秘密探査法(明日の自由を守る若手弁護士の会)
- 現代の貧困(井上達夫)/新平等社会(山田昌弘)
- 整理整頓 女子の人間関係 (水島広子)
- ローカリズム原論 (内山節)
- 鮭の作法がまるごとわかる本(大矢敏雄)
- フルーツ&野菜のパワージュース (浜内千波)
- フルーツパーラー・テクニック(カノフルーツパー) 他

# 新着図書紹介

「もの忘れの脳科学」(菅阪満里子著/講談社) もの忘れが脳のワーキングメモリの機能低下が原因と考えられるが、その詳しいしくみと予防法を紹介する。情報機器に頼り過ぎず、適度に脳と体を使って日常生活を楽しむことが大切だという。

「少年スポーツ ダメな大人が子供をつぶす！」(永井洋一著/朝日新聞出版) 自らもスポーツ指導者として活動する著者が、日本のスポーツ界に潜む問題を分析し、より良いスポーツ環境創造のために提言する。

「毛糸のほっこりあったかざぶとん」(朝日新聞出版) 寒い冬に嬉しいカラフルな手編みの座布団。編み物初心者にもわかり易いように、図と写真で作り方を紹介している。



「ノーベル賞の科学」化学賞編(矢沢サイエンスオフィス編著/技術評論社) 最近30年間にノーベル化学賞を受賞した20人(日本人5人を含む)の、研究内容と人生を紹介している。受賞者から若い人たちへのメッセージも掲載され、良い刺激を受けられる。

「早わかり世界史」(宮崎正勝著/日本実業出版社) 世界史を大きく五つに分け、人類社会の動きを全体的に把握できる構成の本。どこから読んでも事件とエピソードが楽しめる。世界史の流れを手早く掴みたい人にオススメ。

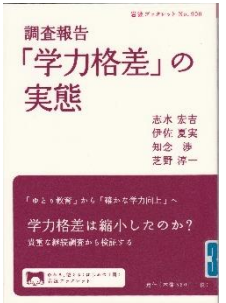
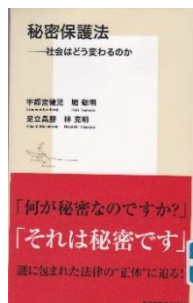
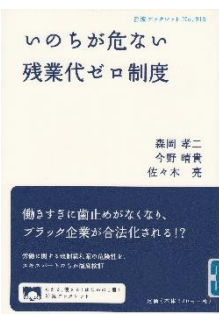
「世界一美しい食べ方のマナー」(小倉朋子著/高橋書店) 食事のマナーは、周りの人も自分も幸せにしてくれる心がけ。何歳になっても磨ける技だ。基本の七原則を身につけて、あなたも素敵な大人に!

「季節を楽しむ和菓子12か月」(おもたせ菓子研究室著/家の光協会) 1月「花びら餅」、2月「椿餅」、3月「きみしくれ」、4月「桜餅」など季節感たっぷりの素敵な和菓子を、丁寧な作り方とともに紹介した本。心のこもった贈り物にぴったり。

「いのちが危ない残業代ゼロ制度」(森岡孝二他著/岩波書店) 政府が提案する、新たな労働時間制度の危険性を警告する。

「秘密保護法」社会はどう変わるのか(宇都宮健児他著/集英社) 昨年12月に施行された「特定秘密保護法」は、秘密と謎に包まれている。その内実と影響に迫る。

「調査報告『学力格差』の実態」(志水宏吉他著/岩波書店) 12年ごとの調査結果から見える学力格差の実態とは? 学力向上への有効な方策も示唆する。



「食物アレルギー」(佐守友仁著/診断と治療社) 最近の食物アレルギー事情と食事療法を詳しく紹介。特に乳幼児への対応については、具体的でわかりやすい。

「ブラック企業を許さない」(清水直子著/かもがわ出版) 近年増えているブラック企業。心身共にボロボロになる前に、立ち向かう知恵と力を身につけよう! 四コマ漫画も入り、わかりやすい。